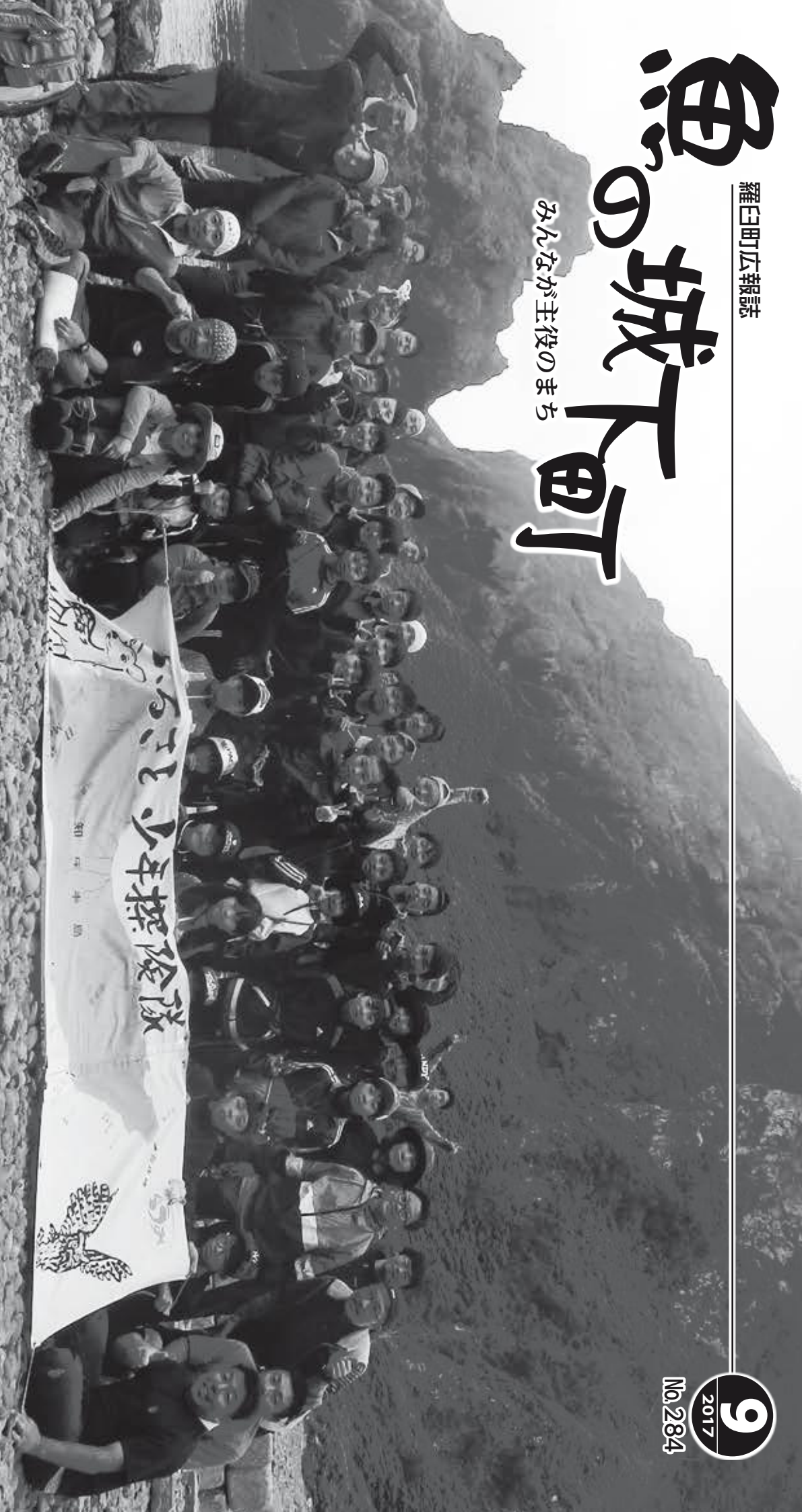


魚の城下町

みんなが主役のまち



ふるさと羅臼の自然に学ぶ 子どもたちの5泊6日間の冒険



開会式の様子



消火器による初期消火訓練
(羅臼消防署・羅臼消防団)

7月9日(日)午前9時30分より、羅臼漁港第1市場周辺において、羅臼町防災会議主催による、平成29年度羅臼町総合防災訓練を実施致しました。

訓練当日は晴天に恵まれ、円滑に訓練を実施する事ができ、多くの方々のご来場をいただきました。

訓練は、海上の訓練から始まり、初動対応の確認、情報伝達訓練、流出油防除訓練、船舶火災消火訓練、緊急物資海上輸送訓練、海上



災害対策本部内の様子

漂流者救出搬送訓練、孤立地域からの急患搬送訓練を実施。

陸上の訓練では、災害ボランティア概要説明、照明確保・排水訓練、電力応急復旧訓練、事故車両における負傷者のトリアージ及

び要救助者救出訓練を実施しました。

また、避難所体験コーナーや災害時備蓄品の展示、配布、ハイゼックス米の作り方体験等、災害時に活用できる技術を学べる展示・体験コーナーを設置し、体験



流出油防除訓練
(羅臼海上保安署・羅臼標津地区沿岸海域排出油防除協議会・小針土建株式会社)



災害時における連携強化及び

町民の防災意識の向上を目指して

平成29年度 羅臼町総合防災訓練





炊き出し訓練
 (羅臼町連合町内会・羅臼町女性連絡協議会・
 LPガス協会羅臼分会・陸上自衛隊)

などを通して、来場者の災害時の対応力の向上に繋がる場となりました。

羅臼町連合町内会、羅臼町女性連絡協議会、LPガス協会羅臼分会、陸上自衛隊では、実際の災害派遣の際に炊き出しを行う車両や羅臼町の災害備品を活用して、連携した炊き出し訓練を行い、カレライス、豚汁の配給を行いました。

今回の訓練では、町と災害時の協力に関する協定を締結している民間企業、団体からも参加いただき、参加機関数は36機関、181名が参加し、町民などの来場者は約150名となりました。訓練や



孤立地域からの緊急搬送訓練
 (羅臼海上保安署・羅臼消防署)



防災対応グッズの展示
 (DCMホームック株式会社・
 株式会社ホームックニコット)



津波実験装置体験
 (北海道教育大学釧路校)



緊急物資海上輸送訓練
 (知床羅臼遊漁釣り部会・株式会社セコマ・羅臼町)

準備を通じて防災関係機関等との顔の見える関係を構築し、連携を深め、来場者の防災力の向上を図ることができました。

羅臼町総合防災訓練は、2年に1度、地震津波災害が発生した場合に備え、関係機関の連携強化及び町民の防災意識高揚を目的として実施しています。

自然災害については、発生を防ぐことは不可能ですが、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本として、防災関係各機関が町民の生命、身体及び財産の保護について万全を期するため及び、町民の「自分の命は自分で守る」という行動への意識を高めていただくために、本訓練については今後も継続して実施して参ります。



事故車両からの要救助者救出訓練
 (陸上自衛隊第27普通科連隊)

町民皆様については、昨年の大震災を教訓として、今一度、災害が起こるときのことを考え、「今できることを準備する『いつも』の備え」を心掛けましょう。



要救助者受入訓練 (知床らうす国保診療所・羅臼消防署)

7月号に引き続き、アンダー60創造会議（以下アンダー60）とオーバー60協力隊（以下オーバー60）から提言を受けた内容について町の方針をお伝えします。

第2回テーマ

「ゴミの分別と不法投棄」について

このテーマについての提言が6点ほどありましたので、項目ごとに町の方針をお伝え致します。

1 町内一斉清掃時に古紙などのリサイクル品を受け入れてほしい。

～町の方針～

古紙のリサイクル回収は、清掃センターが開いている時間帯に各町内会が古紙や段ボールなどをそれぞれ持ち込んでいただき、計量し、受取りしております。

今般、アンダー60より提言をいただき、今年度より町内一斉清掃時にも古紙リサイクル品（段ボール・雑誌・新聞紙・紙パック）を清掃センターで受け入れることと致しました。

2 観光客用ゴミ袋がわかりにくいから、観光客がポイ捨てをするのでは。

～町の方針～

観光客用のゴミ袋については、町内の取扱

店（商店）の入口など目につきやすい場所にポスターを掲示してもらい、その販売とゴミの受け取りをお願いしているところです。

このたびアンダー60からの提言のとおりまだまだ観光客専用のゴミ袋についての認知度が低く、改善をしなければならぬところです。

オーバー60からも、特に釣り人のゴミのマーナーの悪さが意見として出されておりましたので、観光客用のゴミ袋取扱店に対して、ゴミ袋の紹介を積極的に行ってもらおうようお願いし、町も利用促進に努めて参ります。

3 不法投棄防止には監視体制の強化が必要なのは。

人目を盗んで行われる不法投棄。これは環境犯罪です。

その防止策には監視体制の強化が必要であるとアンダー60から提言をいただきました。またオーバー60からは、ポイ捨ても不法投棄も個人のモラルによるものであり啓発活動を続けるべきとの提言でありました。

～町の方針～

監視体制については、現在、町内の事業所や団体に不法投



道路に散乱しているゴミ



山奥に不法投棄された家電類

棄を監視するために「ねむろ自然の番人宣言認定事業所」（事務局・役場環境生活課）という組織に加盟していただき、「地域の監視の目」となっていたいております。

また町民皆様にも監視の目となっていたいただき、不法投棄の通報や関連情報を役場へお寄せいただいているおかげで、年々不法投棄の件数も量も減少してきております。

しかしながら、皆様もお気づきのとおり道路上に空き缶や弁当殻が捨てられているのを目にします。

町としましては、引き続き関係機関と連携を図りながら、監視体制の強化とモラル向上

のための啓発活動を積極的に実施し、町民全員が「地域の監視の目」となり不法投棄撲滅を目指して参ります。

4 ゴミステーションを設置しては。

アンダー60から、単身世帯の方がゴミの収集時間にゴミを出せないでいるのでゴミステーションを設置してはとの提言をいただきました。

～町の方針～

以前ゴミステーションを設置していた際に維持管理面で様々な問題があり撤去した経緯



アンダー60創造会議

がございます。

ゴミステーションがゴミで一杯になっているにも関わらず、その周辺にゴミを放置しその放置されたゴミ袋をカラスやキツネが散らかしたり、熊が寄りつくなどの危険な事案もございました。

オーバー60からも町と同じく、維持管理面に問題があるとの見解の提言をいただきました。

現在、日曜日と祝日以外は清掃センターへのゴミの持ち込みを可能としていますので引き続き戸別収集方式による家庭ゴミの収集を進めたい考えでありますので、ゴミステーションを設置しないことのご理解をお願い致します。

5 生ゴミの収集日を増やす事はできないか。

～町の方針～

現在、生ゴミの収集については週に2回燃えるゴミと一緒に各町内を収集しています。その他に燃えないゴミと資源ゴミ、粗大ゴミを週に1回ずつ収集しています。

また7月から10月までは、相泊方面も収集に回っておりますので、現在の車両と人員ではさらに収集日を増やすということは物理的に困難な状況であります。

家庭から出されるゴミ（一般廃棄物）の収集と処理には多額の税が投入されており、更に町民皆様からもゴミ袋を購入していただく等ご負担をいただながら羅臼町分別収集計画に基づいて実施しているところであり

ます。

第8期羅臼町分別収集計画（H34年3月まで）改定時には現在の収集計画の見直しを含めた羅臼町の廃棄物処理に係る全体計画を検証し皆様からのご意見を参考に現状にあった計画を策定して参りますのでご理解をいただきたいと思います。



6 小さいサイズのゴミ袋を作ってはどうか。

アンダー60より小さいサイズのゴミ袋、新しいサイズのゴミ袋を作成するべきと提言をいただきました。

～町の方針～

現在のゴミ袋の在庫が数多く残っている状況で、今すぐに提言通りにはできませんが、今後のゴミ袋作成の際には、皆様方より袋のサイズ等のニーズを把握しながら新しいゴミ袋の検討を進めて参ります。

アンダー60創造会議は、興味のあるテーマに自由に参加できる形式をとっています。会議開催のお知らせは、町政だよりを通じてご案内していますので興味のある方はまちづくり課 ☎87-2162へお問い合わせ下さい。

らうすのがん事情



～国民の2人に1人は一生のうち何らかの“がん”になる時代です～

近年、国民の2人に1人は一生の間に何らかの「がん」にかかると言われており、身近な病気となりました。国は、平成19年度からの10年間、「がんの年齢調整死亡率（75歳未満）の20%減少」を目標にしました。達成できなかったが、15.6%（2005年～2015年）の減少にとどまっています。達成できなかった要因に、たばこ対策やがん検診受診率の低さが指摘されており、平成29年度からの新しいがん対策推進基本計画では、がん予防に焦点が当てられています。

今回は、羅臼町のがん死亡の実態と最新の科学的根拠に基づいたがん検診や予防法が示されていますので、お知らせしたいと思います。



羅臼町は「がん」が原因で亡くなる人は多い？

「がん」は、私たちの体を作っている細胞の中の遺伝子が傷つくことにより起こる病気です。

健康な人の体の中でも1日に数千個のがん細胞は発生していますが消えています。それは、体の中の免疫細胞が、がん細胞を攻撃しているためです。

高齢化によって免疫細胞の働きが低下すると、がん細胞への攻撃力が落ちるため、がんを発症する確率があります。そのため、高齢化に伴って、がんとなる割合も高くなるのです。

高齢化の影響を除いたがんの死亡状況を見るため、75歳未満の実態を下記に示しました。

羅臼町の過去5年間の亡くなった人の状況を調べてみました

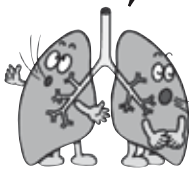
※（ ）内は、前回広報記事掲載時の平成20年～24年の5年間の数字です。

羅臼町民で平成24年～28年の5年間で亡くなった人 **309名**
(平成20年～24年の5年間で290名)

平成24年～28年の5年間で**75歳未満**で亡くなった人 **91名**
(平成20年～24年の5年間で108名)

平成24年～28年の5年間で75歳未満で
“がん”が主な原因で亡くなった人 **38名**
(平成20年～24年の5年間で44名)

肺がんが
第1位!!



10名
(13名)

胃がん



6名
(7名)

肝臓がん

4名
(4名)

大腸がん

4名
(4名)

膀胱がん

2名
(2名)

日本人のためのがん予防法

ー現状において日本人に推奨できる科学的根拠に基づくがん予防法ー

喫煙	たばこは吸わない。他人のたばこの煙を避ける。
飲酒	飲むなら節度のある飲酒をする。
食事	食事は偏らず、バランスよくとる。 *塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。 *野菜や果物不足にならない。 *飲食物を熱い状態でとらない。
身体活動	日常生活を活動的に。
体形	適正な範囲に。
感染	肝炎ウイルス感染検査と適切な措置を。 機会があればピロリ菌検査を。



国立がん研究センターでは、日本人のためのがん予防法を左記のとおり示しています。

特定のがんでは、親の代から遺伝子の変異が生じていて、がんが発生する場合がありますが、多くは日常生活に気をつけることにより、ある程度、がんを防ぐことができると言われて

がんは予防できる???

命を守る！がん検診

がん検診の目的は、がんを早期発見して治療することで命を守ることにあります。単に多くのがんをみつけることが、がん検診の目的ではありません。

がんの多くは、症状がないままに進行します。いかに症状がない早期にがんを見つけて治療するかが大切なのです。

がん検診の対象は、症状のない人です。症状がないからこそ、年に1回のがん検診を受けましょう。

国では、死亡率を減少させる効果を認めて勧めている5つのがん検診があります。

羅臼町においても、この5つのがん検診を実施しています。



国が勧めている

5つのがん検診を同時に
羅臼町内で受診できる総合健診！

11月4日、5日に春松小学校を会場にして、総合健診を実施します。(実施健診機関…札幌複十字総合健診センター) 総合健診では、がん検診のみでなく、特定健診や歯科健診も実施しています。

1時間～2時間ですべての検診を実施することができまので、この機会にご利用ください。

また、通年で検診を受けることが可能な健診機関や医療機関もあります。

詳しくは、健康カレンダーまたは、9月25日発行の町政だよりをご覧ください。役場保健福祉課(87-2161)にお問い合わせください。

がん検診に
行ってみよう！



10月1日～31日は
乳がん月間です

ふるさと納税返礼品で おいしく！たのしく！

Vol. 1

ふるさと納税女子会の始まり！

「ここ数年よく耳にする『ふるさと納税』とは、ゆかりのある自治体を選んで納税（寄付）し、地域を応援する制度です。」

昨年度は、羅臼町にも全国の皆様から2億5千万円を超えるふるさと納税をいただきました。一方で『食べ方がわからない！』『おすすめの食べ方は？』とお問合せをいただくこともしばしば…そこで羅臼町のふるさと納税を担当するまちづくり課の男性職員達は思いつきました。『そうだ。返礼品を使ったおすすめ料理を囲んで女子会やってみる？』『シピもまとめられて、町内の皆さんにもふるさと納税を知ってもらおうことができる！』よし準備開始！早速、人気返礼品『時鮭』と『羅臼昆布』を用意！

第1回目の女子会は役場女子と漁協女子を招いてスタートしました。



『時鮭』・『羅臼昆布』を使った料理を囲んで女子会スタート！

「この日返礼品を使った料理を提供してくれたのは、料理上手が集まる町内の女性団体『美活塾』の綺麗でパワフルな羅臼女子？の皆さん。」

美活塾代表の郁子さんより『今日は皆さんで楽しく召し上がれるように大皿でご用意しました。今日のメニューは羅臼で水揚げされた時鮭や旬のマス、色んな使い方ができる羅臼昆布を使って考えた美活レシピです！』の掛け声で女子会はスタート。

テーブルいっぱいには広げられた料理を目の前に参加した役場女子、漁協女子からは『料理も食器もおしゃれ！』『本格的！テリリー又ってお家で作れちゃうの？』などと、歓声と驚きの声があがります。『ハーブ味噌ってどうやって作るんですか？』『普段からこんなおしゃれに料理するんですかあ？』『そんなわけないしょ！シチューにパイなんてかぶせないよ！』と、あちらこちらで、あーでもないこーでもないで大盛り上がりで女子会は進んでいきます。

本日のお品書き

『時鮭を使ったメニュー』

- 時鮭の彩り生春巻き
- 時鮭の洋風チャンチャン焼き
- 時鮭のムニエル〜タルタル添え〜
- 時鮭のココロサラダ
- 時鮭のハラス手まり寿司
- 時鮭の豆乳シチューパイ包み
- 時鮭と夏野菜の彩り漬物

『羅臼昆布とマスを使ったメニュー』

- マスのちゃんちゃんおやき
- 羅臼昆布DEアーリオオーリオペペロンチーノ
- 昆布ベーグル〜塩マスとクリームチーズディップ
- とろろ昆布汁
- マスの押し寿司
- マスとスケソのテリリーヌ
- 食べる昆布ラー油〜生ラーメンにのせて〜



そんな参加者の皆さんに今日のメニューに使った返礼品『時鮭』と『羅臼昆布』の魅力聞いてみました。

『どの町の時鮭よりも羅臼の時鮭は脂乗りが抜群だよね。』

『羅皇や鮭児ももちろんおいしいけど、地元の漁師さんや浜の母ちゃん達にも時鮭ファンは多いよね！』

『漁師さんが船上で一本一本丁寧に活メして鮮度が良いままおいしさを届けてくれていることも魅力のひとつだね』

『羅臼昆布は出汁もよし、食べてもよし、和洋中どんな料理にも使えておいしさも倍増の女子の味方な食材だね！』

『料理が苦手でも羅臼昆布を使えばなんとかなる!？って位魔法の食材だよね(笑)』

『羅臼昆布も家族総出で製品づくりをして伝統を守りながらおいしさを届けていることが一番の魅力じゃないかなー!』

『皆さんありがと〜ございます。食材のおいしさはもちろん漁師さんや支える浜の母ちゃん達の思いや苦労もしっかりと伝えていくことが大切で、きつと、ふるさと納税の増にも繋がりますね!』

●この日集まった女子達が思うふるさと納税の使い道

おいしい料理と楽しい会話で過ごしてきた女子会も終盤。最後に皆さんが思うふるさと納税の使い道について聞いてみました。

『羅臼町では6つの寄付項目で全国各地の皆さまにふるさと納税をしていただいています。羅臼町内に住む皆さんはどのような事業に使ってほしいか女子目線での意見を聞かせてください!』

『やっぱり、子育て支援の充実に関わるような使い方をしてほしいなと思うなあ。例えば、預かり保育の充実とかどうかなあ。それから、使わなくなった施設などを利用して町内の子どもたちとお年寄りが集まれる施設を作ってはどうか?』

『町内の高齢者と子どもたちが触れ合うことができるのはお互いにとって良いことだね。それから、福祉や介護関係のスタッフが足りないという話も聞くから、資格の助成制度など町内の実情に合わせて更に充実していくと良いなあ。』

『町の産業が元気がなければ、福祉も教育も充実していかないとと思うし、産業活性のために役立ててもらって雇用場が広がったり、新たな事業を展開してほしい!』

『全国のみなさんにふるさと納税で羅臼町を応援してもらうために魅力を発信することももちろん大切だけど、羅臼町の活性化や安心・安全なまちづくりを進めるために、1日でも早く町民の為に効果的に活用できる方法を考え、形にしていくことが大切なんです。それと是非PRにも町民の皆さんに協力していただき更に羅臼町の魅力を発信していければと思います!今日はおすすめのレシピ情報と羅臼町のふるさと納税に関する貴重なアドバイスありがとうございました!』



次回は10月中旬、美活塾主催の料理教室とふるさと納税女子会の合同開催を予定しています!



今日のふるさと納税女子会イチオシレシピ!

羅臼で水揚げされるマスや秋鮭を使って、子どもからお年寄りまで楽しめる役場女子・漁協女子イチオシのレシピです。生地にはあらびき羅臼昆布をたっぷり使っており、マスや秋鮭の旨みと羅臼昆布の風味を味わうことができます。おやつにもお酒のお供にもぴったりな一品です。

役場女子・漁協女子のイチオシレシピ 『マスのチャンチャンおやき』

(材 料)

★強力粉 (200 g)、★薄力粉 (200 g)、★塩 (3 g)、★あらびき昆布 (3 g)、熱湯 (300ml)、白ごま (小さじ1)、サラダ油 (小さじ1)、マス (1/4身)、たまねぎ (半玉)、しめじ (1/2 株)、みそ (大さじ1)、みりん (小さじ1)、コチュジャン (お好み)

(手 順)

- ①★の材料を耐熱ボウルに入れ、軽く混ぜ合わせる。
- ②①に熱湯をまわし入れ、箸などで混ぜ合わせ耳たぶ程の柔らかさになる程度に水分調整しながら合わせる。
- ③まとまった生地にはラップをし、冷蔵庫で1～2時間寝かせる。
- ④③を8等分して手で丸め、平たく丸く伸ばしておく。
- ⑤フライパンに油を小さじ1注ぎ、マスの身が下になるように少し焼く。
- ⑥少し焼いたら、今度は皮を下にして焼きながら、みそ、みりんを合わせた調味料と、玉ねぎしめじを加え、中火でふたをしながら蒸し焼きにする。
- ⑦⑥のマスは骨や皮などを取り除き、身を崩し粗熱をとっておく。
- ⑧④の皮に⑦の具をのせ、生地を引っ張りながら、中心に向かって丸くしていく。表面に白ごまをつけておく。
- ⑨油を小さじ1注いだフライパンで両面こんがり焼き目をつけて完成。

レシピはこちらに掲載中
クックパッド知床羅臼町キッチン



うがいは歯みがきの代わりにになる？

ヘルス
チェック

朝起きた直後、口の中が気持ち悪いことはありませんか？

寝ている間はほとんど唾液が出ないため細菌が増え続け、起床時は一番口の中が汚れている状態です。これが口の中がネバネバするなど、不快に感じる原因です。

口の中の汚れには「食べかす」と「歯垢(しこう)」という細菌のかたまりがあります。ブクブクうがいで落とせるのが「食べかす」で、「歯垢」はうがいでは落とせません。ですから、朝起きたら気持ちが悪いから、うがいをしてから食事…では、実は細菌は落ちていないのです。



今、コマーシャルや店頭で、色々な洗口液を目にします。とても効果がありそうに思えますが、残念ながら歯垢は歯にこびりついているため、こすらなければ落とすことが出来ません。つまり、歯ブラシが必要です。

洗口液でうがいをして、歯ブラシの代わりにはなりません。あくまでも補助的な物です。

外出先などで歯みがきが出来ない時にうがいで済ませたとしても、家で時間が取れる時にじっくりみがくようにしましょう。

口の中の汚れ

食べかす 歯垢

	食べかす	歯垢
うがい 	○	×
歯ブラシ 	◎	◎

注) 歯と歯の間に挟まった食べかすは、取り除くためにフロスなどの使用が必要な場合があります。



子育て情報ひろば ~すくすく~



8月下旬に親子バス遠足を行いました。事前の天気予報では、ずっと傘のマークがついていたので、どうなることかと心配していたんですが当日はとっても良い天気で、たっぷり水遊びを楽しむことができました。お母さん手作りのお弁当もお腹いっぱい食べましたよ♪帰りのバスの中は皆ぐっすりでした。次回は12月にクリスマス会を予定しています。毎月発行のありんこ通信でご確認していただくか、下記までお問い合わせ下さいね。

☆のびのび遠足☆

♪10月・11月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場(0歳~3歳対象) ☆すくすく広場(1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場(2歳~3歳対象)

10月2日	ママの日♪	10月5日	健康ヨーガ教室	10月6日	すくすく広場
10月18日	羅臼幼稚園訪問	10月19日	健康ヨーガ教室	10月27日	のびのび広場
11月6日	ママの日♪	11月9日	健康ヨーガ教室	11月16日	★おはなし会
11月17日	すくすく広場	11月24日	のびのび広場	11月27日	計測
11月30日	健康ヨーガ教室				

健康ヨーガ教室については事前に申し込みが必要です。★印は公民館でおこないます。
*毎週火・水曜日13時~16時30分まで一時預かりもおこなっています。事前に申し込みが必要です。
*お問合せ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』Tel88-1515

通所リハビリとは？

～みんなで育む・みんなの診療所～

医療保険のリハビリと介護保険のリハビリの違いは？

羅臼診療所3階にある当通所リハビリセンター(以下デイケア)は介護保険でのリハビリテーション(以下リハビリ)を行っています。医療保険でのリハビリと介護保険でのリハビリはどのような違いがあるのでしょうか？

医療保険…疾患別(骨折や脳卒中)のリハビリが原則となります。その疾患ごとに決められた日数でリハビリの制限があります。リハビリの専門職と患者が1対1で行います。

介護保険…介護認定を受けられた方が対象となります。介護認定を受けてさえいれば、疾患に関係なくリハビリの必要性があればどなたでも受けることができます。リハビリの専門職1人に対し、複数の利用者としリハビリを行います。

羅臼のデイケアの特徴

羅臼のデイケアには現在理学療法士(主に運動を通してリハビリを行う)1名、作業療法士(主に作業活動を通してリハビリを行う)1名、リハビリ助手(カルテの処理や作業補助)1名が従事しております。療法士が利用者1人1人のプログラムを組み立て、その人の心身状況にあった運動や活動を提供しております。リハビリに用いる機器として、天井から吊るしたスリングで運動を行うレッドコード(図1)や加齢に伴う心身機能の改善のためのパワーリハビリの機器(図2)なども備え付けております。



(図1)



(図2)

実際にどんなことをしているの？

例えば、頸椎の手術により両手先の痺れや麻痺が残った方には、手指の細かい動きを改善させるような運動や作業活動を提供しています(図3)。しかしそれ以外にも加齢に伴う筋力や体力の低下を見越して、運動メニューを組み立てています。また脳梗塞により半身の麻痺が残った方には、スムーズに移動したり、物を運んだり残された体の機能を用いて生活の範囲を拡大できるようにメニューを組み立てています(図4)。



(図3)



(図4)

療法士の評価により、脳血管、整形、循環器、認知症、どんな疾患でも問わず、その人の状態に合わせてプログラムを組み立てることができます。しかし、リハビリテーションにおいて大事なものは、本人や家族の少しでも良くなるんだという気持ちと、そのためにできることを頑張ろうという気持ちだと思います。もちろん嫌でも歳は取りますし、加齢や疾患に負けずに変わらないで毎日を過ごせることも素晴らしいと思います。何事もその人なりの目標をもって取り組んで貰えればと思います。

随時見学や相談は受け付けておりますので、お時間があれば診療所3階まで足を運んでみて下さい。

～予約・お問い合わせ～ 知床らうす国保診療所 TEL87-2116



普通科高校で水産業を学べる学校は、全道でも希少です！

「第33次 高校生の水産教室」

～次代を担う若者のためのふるさと学習～

この事業は、羅臼高等学校・羅臼漁業協同組合・羅臼町教育委員会三位一体となり、基幹産業である水産業を学ぶ特別授業です。羅臼高等学校に通う3年生を対象とした選択科目「海洋生物」の授業に位置付けられ、年間約30回を数えるカリキュラムを今年度は10名の生徒が専科生として学習を進めています。



写真 ダイビング実習の様子(ロウソク岩付近にて)

しよつか。
現在は、漁業を中心とした産業学習としてカリキュラムが組まれており、漁業を希望しない生徒でもふるさと学習の一環として履修することができま

す。道立普通科高校で水産業の知識や技術、考え方を学べるのは道内では奥尻高校・天売高校・礼文高校・羅臼高校のみであり、特色ある取り組みとして注目されています。特に、スクーバライセンスカードが取得できる等、水産に関連した技術取得も行うことができます。年間約30回のカリキュラムを指導する講師陣は、そのほとんどが漁協や企業等地域の方々で構成されているのも特徴の一つです。



↑昭和61年度、サケマス孵化場見学。

目的は「漁業に従事しようとする高校生を対象に漁業についての基本的な知識や考え方、技術を学ぶ機会提供と、自分の進もうとする漁業について真剣に考えようとする態度を育てる」というものでした。漁業が基幹産業でありながら、後継者を育成・教育する機会がなく、社会的にその機会が求められていた背景から企画されたことが始まりです。50代前半から現在にかけては、この水産教室の専科生の中には、この水産教室の専科

はじまりは、次代を担う漁師の育成プログラム



↑漁協青年部の方々講師となりロープワーク技術を伝授する。

を学ぼう！
羅臼高校では、本教室をはじめとして、知床の自然・地域の産業・自然保護・観光のあり方などについて学習する知床学（自然環境科目群）が充実しています。また、興味・関心に応じて、或いは将来の進路を考えての進学コース・就職コースが整えられており、幅広い科目を選択し、自分の進路にあった授業設定ができるよう配慮されています。地元でただ一つの高校である羅臼高校の魅力に、今一度目を傾けて

世界自然遺産「知床」で、自然環境・産業を学ぼう！

H29年度(第33次) ＜学習カリキュラム＞

- ①開級式・記念講演
- ②ロープワーク
- ③ダイビング講習・実習
- ④市場・加工場見学
- ⑤気象講習
- ⑥深層水学習
- ⑦海難防止講習
- ⑧鮭採卵・受精実習
- ⑨鮭トバ加工実習
- ⑩イカの解剖実習
- ⑪ウニ種苗センター
- ⑫郷土料理実習
- ⑬海鳥学習
- ⑭閉級式・記念講演



↑井田昆布部会長による開級式記念講演の様子。羅臼昆布の魅力と特徴について丁寧に説明いただいた。(H29年5月)



↑海難防止講習会の様子。このあと、用途に合わせた様々なライフジャケットを着用し入水訓練を行った。(H28年10月)

公共図書館と学校図書館が つながれば!

～連携でかなえられること～



羅臼町子どもの読書活動・学校図書館活性化研修会

羅臼町教委と管内図書館協議会が主催し、道立図書館の市町村支援事業として8月30日標記の研修会を行い16名が参加した。

「すべての子どもが自ら本に親しみ学習を進めるための環境整備はどうあるべきか？」をテーマにした研修会では、道立図書館企画支援課の中田こずえ主幹が道内の学校図書館の活動事例や活性化の鍵となる学校司書の配置状況について講義を行った。

子どもが100%そろった学校という場所でイベントや読書活動ができる意義は大きいこと。子どもと本をつなぐためには人の配置が鍵であり、道内でも学校司書を配置する自治体が広がっていることなど多くの事例が話された。

最後に中田主幹は「図書館の構成要素は施設が1割、本が2割、職員が7割である。資料情報に詳しく、人を知り人と情報を結びつける技術がある専門性を持った司書が必要。どうぞ自分の町のベストを尽くしてください。」と結んだ。



文と絵で伝えるPOPづくりに挑戦!



春松小 岩井洋美先生(左)と
道立図書館 森定理恵司書(正面)

読書に親しむ体験事業

～POPで本を紹介したよ～

去る8月31日春松小学校で読書活動充実事業

(読書に親しむ体験事業)を実施した。

(道教育委員会主催・道立図書館主管)

道教委では道内で書店も図書館もない自治体を対象に、地域の子どもの読書に対する興味・関心を高め読書活動の推進を図ることを目的として、平成27年度から3カ年計画でこの事業を実施している。

この日は同校5年生の児童15名が参加し、道立図書館の司書森定理恵さんが指導して本の魅力を伝えるPOP作りを体験した。

子どもたちは、担任の岩井教諭の指導の下で事前に数冊の本を読みその中からそれぞれが薦める1冊を選んで本の魅力を伝えるPOPを作った。完成後はグループ内でPOPを用いて本の魅力を紹介した。



完成したPOPを使って本を紹介しあう様子



子どもたちからは「初めてPOPを作ったがとても楽しかった。また作ってみたい。」「本を紹介するのは少し緊張したが、本の魅力を伝えることができて良かった。」などの感想が寄せられていた。

岩井教諭は、「作品が完成し達成感が得られた様子だった。この事業をきっかけに公民館図書室とも連携しながら子どもたちが本に親しむ機会の充実を図っていきたい。」と意欲的だ。

完成したPOPと本は、読書週間を前に公民館ロビーに10月11日～25日の期間展示する予定。

あしたへつながる防災知識

第6弾

災害時における情報収集の手段について

皆さんはどのような方法で防災情報を入手していますか。

テレビやラジオ、最近はインターネットやスマートフォンまたは、携帯電話に届くエリアメール、羅臼町防災メール（登録制）でも手軽に情報取得できるようになりました。

もちろん、防災行政無線も情報取得する方法のひとつです。

町では平成10年から戸別受信機と屋外拡声器を利用して、防災情報を放送しています。平時時は行政情報も放送していますが、防災情報では「気象情報」や「避難情報」等を放送していません。

また、総務省より発表される全国瞬時警報システム（Jアラート）とも連動しているため、津波や弾道ミサイルの発射等の情報も防災無線を通じて放送されています。

防災無線は聞こえていますか

防災無線戸別受信機には停電時でも動くように中に電池が入っています。

電池を入れたままにしておく、電池の液漏れで故障の原因となりますので、1年に1回は電池の確認をして下さい。

※戸別受信機は故障した受信機から順次新しい機種に変更しています。（故障の場合は役場総務課にて交換しております。）
なお、どちらの機種も電池を内蔵していますので、確認して下さい。



全国瞬時警報システム（Jアラート）とは

大規模な地震や津波、弾道ミサイルの発射等すぐに対処しなければならぬ事態が発生した場合、国から住民に直接速やかに情報を知らせ

ることを目的としたシステムです。
8月29日に引き続き、今月も15日に北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、1道11県に緊急速報が放送されました。

なお、放送内容はあらかじめ設定された内容が放送されます。

よく、放送の話し方が変とお話を頂きますが、国では、老若男女が聞き取りやすい音声と速度を研究した結果を元に音声を設定しているそうです。

羅臼町防災メール（登録制）と緊急速報エリアメールの違い

どちらも同じ携帯電話に届くメールですが、羅臼町防災メール（登録制）はどこにいても、当町の情報を受取れます（もちろん登録者のみ）が、エリアメールは送信時、羅臼町内にいる方の携帯電話にしか届きません。

また、エリアメールは運用方法としてすぐに対処しなければならぬ事案など、緊急性の高い情報にしか利用出来ませんが、羅臼町防災メール（登録制）では、気象情報や通行止めの情報など、町外にお出かけしていても当町の情報を知ることが出来ます。



防災情報入手する手段は色々ありますが、災害時には状況によって、利用できなくなることもありますので、日頃から、多数の情報手段を確認しておくことをお勧めします。



城下町のわだい

みんなでまちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。

ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載して行きたいと考えています。

みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

平成29年7月20日(木)



それぞれの目標に向かって

7月に開催された中学校体育大会管内大会で、羅臼中学校ソフトテニス部は団体戦及び個人戦ともに優勝、羅臼中学校3年山下卓徒君は剣道競技で準優勝し、それぞれ全道大会へ出場となりました。

町長への表敬訪問では、ソフトテニス部部长太田未有さんは「悔いの残らないよう練習に取り組んで、笑顔で大会を終れるよう頑張りたい」、山下君は「まずは一勝出来るよう頑張りたい」とそれぞれ抱負を語りました。

全道大会の結果は残念ながら、ソフトテニ



後列左より
松山菜々子、高橋 小遙、小島 京華
下柵棚 李、山下 卓徒
前列左より
今泉ほのあ、四ツ屋明依、太田 未有
葛西 涼音 (敬称略)
※太田さん下柵棚さんは団体・個人戦ともに出場

スは団体及び個人ともに初戦敗退、剣道は予選敗退となりましたが、今大会の経験を活かし、これから活動に励んでいただきます。お疲れ様でした。

平成29年7月21日(金)～23日(日)



第4回

しれとこ羅臼こんぶフェスタ

今年で4回目を数えるしれとこ羅臼こんぶフェスタが開催されました。

第1回目から継続している大好評の昆布漁体験に加えて、今年も新たな企画として、「ギャラリイミグラード」と「ルサ・フィールドハウス」内に設置された「NO



boards Catalog、"ルサカフェ"の2つのカフェと連携しカフェ巡りが実施されました。回数を重ねるにつれ、新たな企画や挑戦を試みる羅臼町活性化プログラムの今後は活躍の期待します。

平成29年8月20日(日)



広げよう！

地域の福祉の力

羅臼町公民館で「第1回福祉のつどい」が開催されました。

会場では、とつどいの作品販売や更生保護女性のフリーマーケット、福祉用具の展示等があり、また「トシ&エリ」

のミニコンサートも開催され、会場は大変盛り上がりまして、この集いで、多くの方々が福祉を感じました。



とつどいによる作品販売

平成29年8月27日(日)

羅臼町の代表として

昨年、第30回を記念し、道内179市町村から1名ずつ選手を募り開催した北海道マラソン（羅臼町は大

道マラソンにより欠場）。今大会も継続され、町内公募した結果、当町からはファンラン（11.5km）に西條勇二郎さんが出場しました。

これまで同種目に5回参加してきた西條さんは、大会後「完走を目標に参加した。気温も高くなく、走り易かった。今後もフルマラソンは難しいが、ファンランが有る限り、参加したい。」とマラソンへの想いを語ってくれました。お疲れ様でした。



報告に訪れた西條さん

平成29年8月31日(木)

創部以来の快挙!!

7月に釧路市民文化会館で開催された第54回釧路地区吹奏楽コンクールにおいて、羅臼高等学校吹奏楽部が高等学校C編成の部で金賞を受賞、吹奏楽部創部以来、初めて全道大会出場となりました。

8月31日に札幌コンサートホールKitaraで演奏し、銅賞という結果に、部長の藤本ころさんは「これまでの練習の成果を全て出し切れた。この経験をこれからの活動に活かしたい。」と話してくれました。今大会で3年生8名は引退ですが、今後も漁火まつりや管内吹奏楽祭など、出演を予定されているそうです。お疲れ様でした。



後列左より 越後谷健太郎、中陳 愛晴、山本 倅平
佐藤 玲菜、藤野 一輝(顧問)
中列左より 岩間梨々夏、濱谷 津太、小寺由希子
三河 千潤、佐々木 深矩、鈴木 将太
前列左より 菅原 春菜、岡 李、藤本ころ
井田 香凜、天口 仁人 (敬称略)

平成29年8月29日(火)・9月1日(金)・7日(日)

今年で5年連続! 「にっぽん丸」が寄港

日本を代表する商船三井客船の豪華客船「にっぽん丸」が今年も羅臼港に寄港しました。当日は、町長や関係機関の方々に加え、今回初めて特産品販売振興会やふるさと納税返礼品取扱事業者等による羅臼町の特産品PR活動を実施し、寄港を歓迎しました。

寄港後乗客の皆さんは、早速「ホエールウォッチング」や「羅臼湖トレッキング」や「羅臼知床らうす」の大自然を満喫し、昼食のダイニングキッチンでは「ぶとうエビ」などの羅臼の味覚を堪能していました。

また、今年も町民向けに船内見学会を開催し、参加された方々は、少しの間だけ豪華なクルーズ気分を味わっていただきました。この寄港に伴い協力いただいた関係機関の皆さんありがとうございました。



羅臼町特産品PR



「らうフィッシャー」でお出迎え

TAXコラム

(税務財政課通信)

情

RAUSU TOWN

報ひろば

INFORMATION

「9月は、国民健康保険証の切替です」

■今月中に「国民健康保険証」を郵送します

国民健康保険に加入されている世帯の世帯主の方あてに国民健康保険証を郵送しますのでお手元に届き次第、ご確認ください。

■国民健康保険税や町税等を滞納している方（世帯）には、保険証は郵送しません

役場にて、納税相談等を行ったあとに交付しますので来庁して下さい。

国民健康保険税の滞納状況等により、保険証の有効期限が短くなっています。有効期限が切れる前に来庁の上、納税相談を実施してから更新となります。

■「資格証明書」が届いた方（世帯）は、保険証は発行されません

病院等に受診した場合は、「資格証明書」を提示して、10割負担となります。

10割負担をした領収書を国保係に持参して下さい。7割分の還付の手続きを行い、還付金を税に充当します。

資格証明書は、健康保険証の短期交付の方（世帯）で、納税状況等が悪質だと判断された方（世帯）に郵送されます。

【納期内納税に努めましょう】

納期限内を過ぎて納税しますと、納期限を過ぎた日数によって延滞金が加算されることがあります。また、税金を納めない場合、預貯金、給与、生命保険、自動車、不動産の差押等の滞納処分の対象となります。

納期内納税が困難な場合は、すぐに来庁して納税相談をして下さい。

【9・10月の夜間窓口】

〈9月〉	夜間窓口	9月29日(金)	午後8時まで
〈10月〉	休日窓口	10月29日(日)	午前9時から午後5時まで
	夜間窓口	10月31日(火)	午後8時まで

〈お問合せ先〉

役場税務財政課

TEL 87-2113

2場入緒事 りとでも消しに団
6保健合にに少組のをややふの体
1福健問にに少組のをややふの体
祉合にに少組のをややふの体
課先験味で目元交日、まの会
事ま着がもい標気流頃、ねつへ
務あしがある身にになをののと
局せみる方体を予を保を保を
8局せは、かす予を保を保を
7んせん、かす予を保を保を
| 役か。



クリオネの会の皆様

皆様、クリオネの会というふまねつと運動を推進している団体をご存知でしょうか。まず、ふまねつと運動とは、認知症予防や介護予防の環境として用いられている運動の一つで、あみを踏まないようにゆっくり歩く、手拍子をつけステップをふんだりと身体に優しく楽しむことができる運動法です。

そんなふまねつと運動を一人でも多くの皆さんに知ってもらうため、ふまねつと運動サポートセンター主催の講座を受講した8名が立ち上がり平成28年12月に「クリオネの会」が結成されました。

主な活動としては、こまぐさ学級等の様々な団体の会へ出向き、一緒に運動を実施し、ふまねつと運動の不足の解消、ふまねつと運動の楽しさを伝えるための目標を設定し、運動の楽しさを伝えるための目標を設定し、運動の楽しさを伝えるための目標を設定し...

地域と共にあゆむ

世界最大の旅行情報サイトである、トリップアドバイザーが行った「旅好きが選ぶ！道の駅ランキング2017」で「道の駅知床・らっす」が全国19位を獲得しました。

目の前には海が広がり、天気の良い日は国後島が望めるという魅力や高級ブランド「羅臼昆布」、海の幸のお土産も多く揃えられている「道の駅知床・らっす」。これを機会に更に多くの方々に利用していただきたいと思います。

地域のみりよく

おくやみ申し上げます

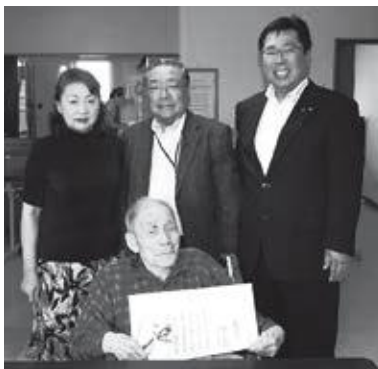


(敬称略)

赤ちゃん誕生



(敬称略)



百寿 田中 喜共 様

長寿のお祝い

知床・羅臼まちづくり基金
「地域資源を活かした
活力ある産業のまち
に関する事業」
に
関する
事業」
宗
教
法
人
念
法
眞
教
様
(平成29年7月11日
平成29年9月10日受
付分掲載)

寄付・寄贈
ありがとうございます
ございました

俳句同好会「羅臼いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、下記までお問い合わせ下さい。

〒086-11823 羅臼町栄町
羅臼いさり火吟社 宮腰 實
(電話0153-87-3758)

老鷲を聞きつつ薪の支度かな
踊り子の指の先なる羅臼岳
新涼や浅草恋しいハイボール
汐焼けの踊子も居て漁師町
全快の夫の寝息や夏の月

悠 羅 泥 鹿 悠
美 牛 舟 山 羅

羅臼いさり火吟社
8月例会句
平成29年8月

人の動き

平成29年8月末現在 ()内は平成29年7月末対比

人口	5,224人 (+ 3)	男	2,583人 (+ 1)
世帯	2,097世帯 (+ 2)	女	2,641人 (+ 2)

編集後記

今月号の取材では羅臼小学校5年生の皆さんとにっぽん丸船内見学会へ行ってきました。

間近でにっぽん丸をみた生徒は、その大きさに大興奮。「小学校より大きい」「こんな大きなのが浮いてるって不思議」と会話を弾ませていました。見学会では、真剣にメモをとる様子が印象的で、最後は学級目標である「HOT」の頭文字「H」を手で作り全員で記念撮影し大満足の様子で帰ってきました。

ぜひ皆様も来年、船内見学会へ参加してみたいはいかがでしょうか。(A)

羅臼町民憲章
(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。